

令和 8 年度 研究開発学校推進全体計画

研究開発課題	学校の教育目標	児童及び地域の実態
多様な個性や特性、背景を有する子供達を包摂する柔軟な教育課程の編成 〈一人一人の興味・関心に応じた学びの充実のための弾力的な教育課程編成〉	地域社会に貢献し、豊かな心で創造し続け、自ら学びを獲得する生徒の育成 ○地域社会の良さに気づき、自ら貢献できる生徒 ○社会の変化にしなやかな対応し、新たに挑戦できる生徒 ○学びを自分のものとし、自他ともに高めあう生徒	○計画的に家庭学習をする習慣が未定着な生徒が多い。 ○基本的生活習慣の未定着からくる心身の健康状態が不安定な生徒が多い。 ○家庭の教育力の面で支援が必要な家庭が見られる。

研究開発学校 研究内容Ⅰ
多様な個性や特性、背景を有する子供達を包摂する柔軟な教育課程の編成 〈一人一人の興味・関心に応じた学びの充実のための弾力的な教育課程編成〉

指針 1 「生徒の主体性を育む探究的な活動」	時数
○ばるちゅうタイム 1 生徒自身が学びを楽しむ、人生を豊かにするためのコース。生徒自身が興味や関心をもっている内容を設定し、主体的、探求的に活動する。また、コース開設については、教師全員または、地域人材を活用し、いずれかのコース担当としてかわる。期待できる効果は、自主性の向上、探求心の育成、チャレンジ精神 等	1 5
○ばるちゅうタイム 2 生き方に着目した、人間関係を構築するためのコース。これまで校区事業で実践してきた小中連携の「ソーシャルスキルトレーニング」を全校、学年、学級単位で設定し、自己の課題に気づき、課題を解決できることを目指す。期待できる効果は、小小、小中間の連携やつながりを高めることや人間関係による生徒間の問題克服等	1 4
○ばるちゅうタイムロング 生徒自身が自身のスキルアップのために課題を設定し、計画的に参加するコース。具体的には、体力向上、芸術文化、ボランティア等に放課後の時間で選択、企画、実施していく。期待できる効果は、主体性、企画力、自尊感情の高まり、地域貢献 等	2 0

指針 2 「自ら学び続ける教師を目指した教職員の資質・能力の向上を図る取組」	時数
○パワーアップタイム 教師各自が今日の教育課題（授業観の転換、学年・学級での生徒理解等）に向き合い、創造的、発展的に取り組む内容。	3 0
○スキルアップタイム 各自が自身の課題解決や今後必要とされるスキルを身に付けるための研修。個人、小グループ、マンツーマン等多様な形態で実施できる。45 分の授業構成を新たに創り出す 等	1 2
○ブラッシュアップタイム 福岡県教員育成指標に基づき、教師自身のニーズに応じた自主参加型の選択研修。教育課題をはじめ、心身の健康を増進する内容やライフワークバランスを考えていくことに取り組む。	7

研究開発学校 研究内容Ⅱ
「教育課程内で行う授業時間短縮に応じた授業における指導や支援の在り方」
○ 中学校 4 5 分に短縮された各教科等の授業について、学校種や各教科等の特質に応じて、児童生徒の学びを一定のまとまりとして捉えて行う指導過程の適正化や学習評価の内容や方法が整理された「授業モデル」を作成する。 ○ 裁量的な時間を含む各教科等の教育課程上の位置付けと役割に基づき、教師は道徳や総合的な学習の時間、特別活動、裁量的な時間「児童生徒の主体性を育む探究的な教育活動」を、教科で学んだことの実践・評価の場と設定し、PDCA サイクルによる教科指導の在り方の改善を図る。具体的には、児童生徒自身が他の学習場面で発揮できた（できなかった）パフォーマンスからこれまでの自身の学びを振り返り、何のために何をどのように学ぶべきかを主体的に問い続けることができる授業の在り方を検討していく。 ○ 児童生徒が各教科等の学習内容を効果的・効率的に学ぶことができる新たな ICT 活用方法や適正時数検討を含めた教科等横断的なカリキュラム・デザインを検討する。